

第54回技能五輪全国大会 冷凍空調技術職種 競技課題Q&A

161007

No.	図面番号	質問	回答
1	公表課題p.1	部材Bは、競技前日に取り付け可能か。	可能。「競技前日に行う作業」参照
2	公表課題p.1	インターフェイス端子台と制御盤端子台の連絡配線は競技前日に行ってよいか。	不可。「競技前日に行う作業」に記載がある作業のみ前日に行う。
3	公表課題p.1	コイル蒸発器を前日に水槽内に入れて保管しておくことは。	可能。接続等の「作業」とみなされることを行なうことがなければよい。
4	公表課題p.2	材料表①銅管15.88の厚さ0.8は標準ではないが。	加工性、使用冷媒等を勘案し、競技に特化している。
5	公表課題p.2	材料表②銅管12.7の支給長さが150(ループ状で支給)だが不足では。	ループ状だが、コイルを直線に伸ばした状態で切断。また、支給長さには十分な長さを支給する。
6	公表課題p.2	材料表⑦ドライヤは付属品はダンフォス、備考欄はTASCOだがどちらを使用するか。	TASCOの品番を標準とする。
7	公表課題p.2	仕上テープの25mmの切断方法、持参長さは。	任意とする。必要分を取り出して事前加工するのもOK。長さについては仕上がりによって違うので必要な分を持参する。
8	公表課題p.4	工具類のドライヤには、ウォータポンプドライヤも含まれるか。	含む。
9	公表課題p.5	ガラス管ヒューズ(0.5A)の支給・持参については。	制御盤に取り付けた状態で持参する。(課題図面 I -16参照)
10	端子台板配線要領	循環ポンプのコンセントプラグの処理は。	電源は、FU2系統(主回路用MCCB)から分岐するので、コンセントプラグを切断し、適切に処置して分岐する。
11	I -7	パネル蒸発器の文字数を7文字とすると配管間隔が狭くなり裏側の保温が困難。裏側をh=100程度の型枠で囲い、発泡ウレタンスプレーで硬化後に型枠を外して施工したい。	パネル裏面の銅管は保温するにしないので可。
12	I -13	W40×H30×t2のアルミチャンネルは標準品ではないが。	アルマイト製であれば対応可能。又は調達が困難であれば、近似値の部材を使用する。
13	I -15	制御盤の主回路の線はIV線(黄)で配線してよい。	主回路はキャブタイヤを使用する。
14	I -16	⑨制御盤のベース板は絶縁性とあるが木製は絶縁物と解釈できるか。	できる。
15	I -17	押しボタンの配置は。	課題図面 I -18のとおり。
16	I -17	トグルスイッチの向きは。	縦方向で上倒してONとする。
17	I -4	液ガス熱交換器、部品番号⑩ソケットは、位置指定なしとあるが、水平方向に取り付けてもよい。	不可。図面指定どおり垂直方向限定の上、寸法指定なしとする。

No.	図面番号	質問	回答
18	公表課題p.2	電磁弁付属品の固定用金具をあらかじめ電磁弁に取り付けた状態で持ち込んでよいか。	可能。
19	公表課題p.7	絶縁抵抗測定実施要領①にコイル蒸発器が1/3程度まで水没…とあるがその後はどのタイミングで給水を行うのか。	これ以降の給水は行わない。コイル蒸発器が1/3程度水没した状態で、冷却運転を行う。
20	公表課題p.6	注意事項11に、穴あけ作業は保護めがねを着用することあるが、視力矯正用のめがねは保護めがねに該当するか。	本来は、視力矯正用のメガネの有無にかかわらず保護メガネをするのが正しいと思われるが、本作業においては「軽作業」とみなして、視力矯正用のメガネ使用の場合は、保護メガネの強制はしない。ただし、溶接時は遮光性のある保護メガネ着用は必須とする。
21	I-1	部材D等のベース板への固定方法は裏からナットで固定しなければならないのか。事前にタップ加工してもよいか。	OK
22	I-3 公表課題p.7	気密試験終了後、保温仕上げを行う際にチャージングホースを一度取り外して作業してもよいか。	OK
23	冷凍機運転 作業標準	①圧縮機が3分以上停止状態を…あるが3分以上停止しているかの確認はどのように行うのか。	改めて3分以上停止していることは確認しない。自己管理で3分以上停止(高低圧圧力均衡)後に再始動すること。
24	課題Ⅱ・Ⅲ	ペーパーテスト等の提出タイミングは?	課題Ⅱの測定用紙、p-h線図描画、冷凍機能力算出、ペーパーテスト、課題Ⅲタイミングチャートまで終了したら競技委員等へ提出し、追加課題に着手する。